

令和7年 10月 1日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
橋本 篤
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

准教授1名（女性限定）

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

生物圏生命科学専攻・海洋生命分子化学講座・水圏生物利用学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

生物圏生命科学専攻海洋生命分子化学講座では、多様な海洋生物の基礎的性質の化学的理解と、魚介類、藻類、海洋微生物などの海洋生物資源の有効利用に関する基礎的学理の教育と実践的な研究活動を通して、海洋生物資源の機能性食品、香粧品、医薬品素材などへの有効利用・高付加価値化や持続・安定生産の技術開発に資する人材の育成を目指しています。

今回公募する水圏生物利用学教育研究分野は、水圏生物の生理や機能特性などの生命現象の解明、またそれらの生物資源としての高度有効利用および高付加価値化を目的として教育研究を行うとともに、地域の水産関連産業の発展に寄与する活動を行っています。

今回の公募では、上記教育研究活動に必要とされる十分な学識と経験を有し、それらをより発展させる意欲のある人材を求めています。

5. 担当予定授業科目

（学部）遺伝子工学，海洋生命化学実習，海洋生命化学概論，海洋生命化学演習Ⅰ，海洋生命化学演習Ⅱ，卒業研究 など

（大学院博士前期課程）水圏生物利用学特論，水圏生物利用学演習，海洋生命分子化学特論，海洋生命分子化学特別研究Ⅰ，海洋生命分子化学特別研究Ⅱ

（大学院博士後期課程）生体機能物質解析学，特別演習，特別実験，特別調査研究

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、博士前期・後期課程および学部学生の指導に熱意をもって取り組めること。大学において学生指導の経験を有していることが望ましい。
- (2) 研究科・学部および当該教育研究分野の管理・運営に協調性をもって積極的に取り組めること。とくに、当該教育研究分野の教育研究について、講座教員と連携・協力して取り組めること。
- (3) 水圏生物を重要な生物資源あるいは食資源として位置づけ、その利活用に関する研究を遂行できること。具体的には、水圏生物由来の生体成分の分離および特定やその特性の解明および利活用に関する研究業績を有し、さらに関連する研究手法として、水圏環境中に生息する多様な生物の生理学的・生化学的研究、あるいはゲノム情報を活用した研究を展開できること。
- (4) 水圏生物を重要な生物資源として捉え、その利活用を目指す水産化学の特色を理解して教育研究を担当できること。
- (5) 地域共創大学としての三重大学の目標を理解し、地域産業の育成につながる産学共同研究に積極的に取り組む意思があること。

7. 応募書類（いずれも A4 判にて PDF で提出）

- (1) 履歴書（写真貼付）※本学指定の様式に限る。
- (2) 業績目録（原著論文、著書、総説、その他について、項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）。原著論文については、自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各 200 字程度）を添えること。
- (3) 上記業績目録にかかる別刷（代表的なもの 5 編）
- (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績一覧（代表と分担の別を記載すること）
- (5) 教育に関する実績一覧
- (6) 学会などでの活動、地域における取り組みなど、社会貢献・連携に関する業績一覧
- (7) 大学などでの管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要（1000 字程度）。上記業績目録の原著論文の文献整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（1000 字程度）。とくに、学部学生に対する水圏生物利用学教育における自らの取り組みについて説明すること。
- (10) 応募者の連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）
- (11) 応募者についての照会先（2 名：氏名、所属、役職、電話番号、電子メールアドレスなど）

8. 応募期間

令和 7 年 10 月 1 日（水）～令和 7 年 12 月 1 日（月）

9. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。

面接の場合の旅費は、自己負担となります。

1 0. 着任時期

令和 8 年 4 月以降のできるだけ早い時期

1 1. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし、年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

1 2. 応募書類提出要領

電子データでの提出。応募希望の方には提出用 URL をお送りしますので、下記メールアドレスに 11 月 17 日（月）までにご連絡下さい。なお、メールの件名には「海洋生命分子化学講座・公募書類提出用 URL 希望」と記載すること。

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻
専攻長 教授 福崎 智司
E-mail: satoshi_fukuzaki@bio.mie-u.ac.jp

1 3. 問い合わせ先

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 海洋生命分子化学講座
講座主任 教授 田中 礼士
TEL : 059-232-1211（三重大学代表）
E-mail: tanakar@bio.mie-u.ac.jp

1 4. 参考

海洋生命分子化学講座教員一覧（令和 7 年 9 月 1 日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
海洋生物化学	柿沼 誠		五十嵐 洋治
水圏生物利用学		〔本公募〕	
水圏材料分子化学		伊藤 智広	
生物物性学	大井 淳史		
生体高分子化学	舩原 大輔		水谷 雪乃
海洋微生物学	田中 礼士		
水産物品質学	福崎 智司	岡崎 文美	
海洋食糧化学	柴田 敏行*		

*地球環境センター所属

生物資源学研究科のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp>

生物圏生命科学専攻のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/index.html>

三重大大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。 ※本学では、「三重大大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」（令和 4 年 12 月 27 日）を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進しています。詳しくは下記の URL をご参照ください。（<https://www.diversity.mie-u.ac.jp/index.html>）

※男女雇用機会均等法第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定に基づき、女性教員の割合をより増加させることを目的として、女性に限定した公募を行います。

以上